

平成31年3月29日

各報道機関文教担当記者 殿

## 金沢大学先端科学・社会共創推進機構の設置について

平成31年2月1日付けで「金沢大学先端科学・社会共創推進機構」を設置しました。

本機構は、本学の研究力強化と本学が有するリソースを産業、地域振興、行政、人材育成、医療等、社会のあらゆる領域に還元し、多様なセクターとの実効的な社会実装の推進を目的として設置したものであり、これまでの「地域連携推進センター」と「先端科学・イノベーション推進機構」を再編・統合したものです。

本機構長には、福森義宏理事（社会連携担当）が就任しています。

また、本機構の設置に伴い、担当の事務組織も再編・統合し、4月1日付けで「研究・社会共創推進部」を設置し、本格的な活動を開始します。

※今後、本学において想定される社会実装の展開例は<別紙>のとおり。

### 1. 組織再編・統合

旧組織

**地域連携推進センター**

（事務：総務部 地域連携推進課）

**先端科学・イノベーション推進機構**

（事務：研究推進部 研究推進課，産学連携課）



新組織

**先端科学・社会共創推進機構**

（事務：研究・社会共創推進部 研究推進課，地域共創推進課，産学連携推進課）

### 2. 事務担当連絡先・所在地

〔〒920-1192 金沢市角間町 本部棟4階〕

研究・社会共創推進部

研究推進課（代表） 076-264-6140

地域共創推進課（代表） 076-264-5288

産学連携推進課（代表） 076-264-5298

<本件照会先>

金沢大学研究推進部研究推進課長 中村

Tel : 076-264-6138

<担当>

金沢大学総務部広報室 舘

Tel : 076-264-5024

## 金沢大学において想定される社会実装の展開例

<別紙>

### ○ 磁歪式振動発電を用いたセンサー等の開発

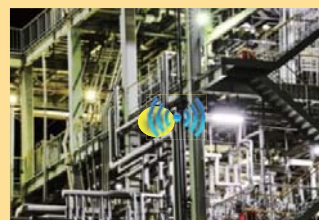
電池交換の問題を解決！



橋梁の状態監視



土砂崩れの事前通知



機械の状態監視



温度、水位などの通知

### ○ 自動運転技術に必要な認識技術等の開発による自動車の自動運転



日本初

市街地環境をも走行可能な  
自律型自動運転知能を開発

### ○ ナノマテリアル研究所における次世代材料・デバイス開発



有機系薄膜太陽電池の高機能化



ダイヤモンドパワーデバイスの開発



超分子の特性を生かした機能性材料を開発